



1月もあっという間に過ぎました。インフルエンザが流行しましたが、今のところ学級閉鎖には至っていません。予防に努めているところです。

【大根干し：1/8・水】

3年生は、大根を育て収穫しました。漬け物作りに向けて大根を干しました。今年の大根は、よく育ち、豊作でした。ボランティアの方の協力をいただき、作業を無事に終えることができました。ありがとうございました。どんな漬け物ができるのか、楽しみです。



【干してある大根】

【書き初め：1/9・木】

全校一斉書き初めを行いました。1・2年生は、硬筆、3～6年生は、毛筆に取り組みました。3年生は「正月」を半紙に、4年生は「美しい空」、5年生は「新春の光」、6年生は「伝統を守る」を条幅紙に書きました。集中して、一筆一筆を丁寧に書きました。「書は人なり 文字は人となり」という言葉があります。キーボードで打つ文字や文には、気持ちが十分には伝わらない部分がありますが、「書」「文字」には、その時の思いや精神が表れます。書き初めに、今年1年の気持ちを表すことができたことでしょうか。がんばってほしいです。



【4年生書き初めの様子】

【幼保・小交流会：1/28・火】

栄松保育園、めいつ保育園、みなと保育園、にじいろの海保育園、立正幼稚園の皆さんと1年生の交流会がありました。おてだまやけんだま、めんこ、おはじき等7つのコーナーで、1年生が説明やお手本を示し園児を優しくお世話していました。来年度、安心して入学してほしいと思います。



【保育園児の皆さん】



【おはじき遊びの様子】

【なわとび集会：1/30・木】

1、2年生が4時間目になわとび集会を行いました。1分間で前跳びや後ろ跳び、片足跳び、駆け足跳びなどに挑戦しました。最後まで引っかけずに跳べる子もいました。体育の時間や休み時間に練習した成果が見られました。他学年でも行われましたが、学年が上がるほどに難しい跳び方ができるようになっていました。みんなよく頑張りました。



【なわとび集会の様子】

2月の主な行事

21日(金) 参観日
28日(金) お別れ遠足

裏面もご覧ください



よさをいかす

「よさをいかす」は、子どもの個性を伸ばす最善の方法です。どの子どもにも必ずよいところがあります。「よさ」は「良さ、善さ、好さ」で、「いかす」は「生かす」、「活かす」です。具体的な例で考えてみます。

〈勉強の例〉 ○ 漢字や読書が得意 ● 計算や考える問題が苦手の場合

できないことをできるようにさせるために、苦手な計算や考える問題に多くの練習や時間を割くことでしょう。できないことをできるようにする努力は必要ですが、嫌になってしまつては、元も子もありません。この子の場合、得意な漢字や読書に時間を割いて、苦手な部分はちょっとがんばる程度でいいと思います。苦手な部分に時間を割くと得意な部分が伸びなくなりますが、得意な部分に力を注ぐと苦手な部分も改善されていきます。

〈運動の例〉 ○ 走るのが速い ● ボール運動が苦手の場合

運動は、得手不得手をはっきりします。できる・できないがはっきり見て分かるからです。子どもは、苦手なところをできるようになりたいと思います。また、得意なところを伸ばそうとも思います。この場合、「走るのが速い」ところをどんどん伸ばすといいと思います。運動の軸を「走ること」に置き、ボール運動はおまけでちょっと練習すれば、どんどんできるようになることでしょう。

〈性格の例〉 ○ 一人で居るのが好き ● みんなと遊ぶのが苦手の場合

一人で居る子どもを見ると「さびしくないかな」、「仲間に入れてもらえないのかな」と心配します。本人は、「一人」が好きなのです。大人がそれを解せず、みんなの中に入れようとするそれが苦痛になります。ひとりぼっちにならない程度の集団生活を送ることができるようになる必要がありますが、一人で居ることを問題視してはいけなideしょう。「一人で居る」ことに軸を置きながら、集団との関わりができるように育てていく必要があります。

大人には、子どものできないところが目に付きます。大人は、そのできないところを何とかしようとしします。そのことが、子どもにどれだけのストレスを与えるかを考えなければいけません。できることや得意なこと等の「よさ」を見付け、それを伸ばし、課題を克服することが、ストレスを抑え、健やかに成長に導くことができます。後2ヶ月で、次の学年に進級します。お子様のよさを見付け、認め、次の学年でのやる気を引き出してください。きっと、ぐんと伸びることでしょう。